



撮影から活用までを最速でつなぐ ‘待たせない’ ワンストップ映像ソリューション

1 高画質圧縮 × 低遅延伝送で課題を解決

CRI・ミドルウェアが持つ高画質圧縮技術と、低遅延伝送技術を組み合わせて、お客様のさまざまな課題に合わせたソリューションを提供します。

高画質圧縮

- ・ **自動最適圧縮「AdaptiveCompression」**
映像の内容に合わせて自動で最適に圧縮し、余計なデータを省いて小さくします
- ・ **AI 圧縮「SmartFocus」**
AI が「映像の中で大事な部分」を見つけて、そこを高画質に保ちつつ圧縮します

一般的な形式の圧縮動画



容量 : **20.0MB**
H.264 : **15.0Mbps**

CRI DietCoder Bridge の圧縮動画



容量 : **1.8MB**
H.264 : **1.5Mbps**

1/10
SIZE

低遅延伝送

- ・ **低遅延伝送「RapidSync」**
伝送の遅れを最小限にして、ライブ配信でも臨場感を損なわない通信を実現します
- ・ **安定伝送「SlimConnection」**
電波が弱いなどの回線が細い環境でも、映像が途切れない安定した伝送制御を行います

一般的なソフト
での動画伝送



CRI DietCoder
Bridge の動画伝送



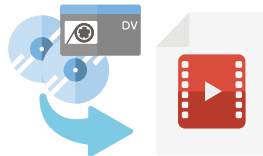
・ 位置連携「GeoSync」

映像に GPS や GIS 情報を組み合わせて、地図上での表示や管理を可能にします

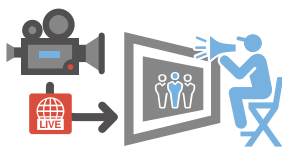
- ・ **デジタイズ技術** HDCAM などの古いフォーマットの映像データも最新の形式に変換できます

主なアプリケーション

アーカイブ / リマスター



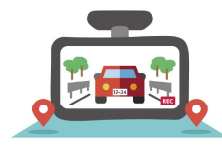
ライブ放送



AI 監視カメラ



ドライブレコーダー



アーカイブ/リマスター

旧来の規格の映像データを、アップコンバートや圧縮等の画像変換を行いながらデジタル化します。



ライブ放送

通信状態が良くない環境でも、放送規格に対応しつつ、リアルタイムかつ安定した映像を伝送できます。



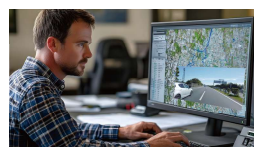
AI 監視カメラ

顔やナンバーなど検知に必要な情報を損なうことなく、映像を高圧縮することで、データ量を最小限に抑えます。



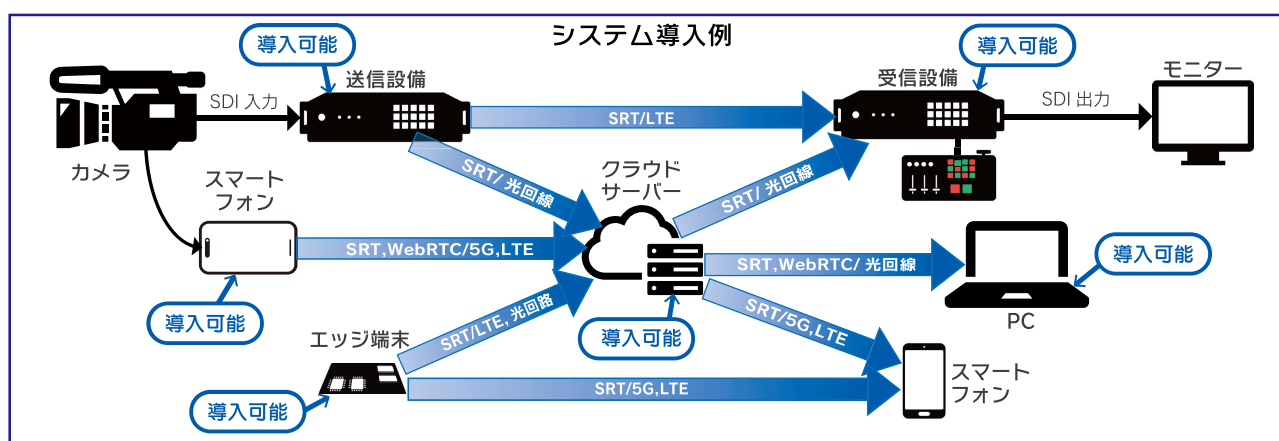
ドライブレコーダー

最小限のデータ量で、安定した映像データと位置データを保存すると共に、送信することができます。



2 導入方法

このソリューションは、お客様の既存のシステムに後付けで導入できます。システムに合わせた導入方法をご提案します。



3 仕様概要

入出力インターフェイス		HDMI, IEEE1394, USB, MIPI, SDI
転送プロトコル		RTSP(監視カメラ), RTMP , WebRTC, UDP, TCP, HTTP, HLS, SRT , ONVIF
対応コーデック	音声	AAC, Opus , MPEG-1 Audio Layer2, PCM, その他各種
	映像	H.264, H.265, AV1 , VP9, MPEG-2 Video, その他各種
対応コンテナ		MP4, MOV, MXF, M2TS, M2PS, VOB, Ogg, WebM, Y4M, BDAV, DVD-VR, その他各種
ハードウェア支援		Intel Quick Sync Video, NVIDIA NVENC/NVDEC/CUDA, AMD Video Core Next(VCN)
付加機能		顔認識, 動体検知, 物体検知, インタレース解除, ノイズ除去, 手ぶれ補正, 色調補正, 回転, 超解像

製品紹介ページ



開発・販売元

株式会社 **CRI・ミドルウェア**

東京都渋谷区桜丘町20番1号 渋谷インフォスター11階
<https://www.cri-mw.co.jp>

※CRI 1、[CRIWARE] [CRI DietCoder] [CRI DietCoder Bridge] は、日本およびその他の国における株式会社 CRI・ミドルウェアの登録商標または商標です。
 ※その他記載の会社名、製品名等は、各社または団体の登録商標または商標です。
 ※上記記載は 2026 年 7 月現在の情報です。
 ※本カタログ記載の内容は、予告なく変更することがあります。

J2607CRINDC500C